



### 春日部イブニングロータリークラブ 会長 中山 萬生

2011～12年度 カルヤン・バネルジーR I会長は、まず自分自身を見つめ直すことから始めよう、すなわち『心の中を見つめよう 博愛を広げるために』をR Iのテーマに掲げました。そして3つの強調事項を発表しました。

「家族」「継続」「変化」です。得意とすることを継続しながら、次のレベルへ高めていくこと。大事なことは、まず自分自身が変化の担い手にならないといけないということにあります。三國ガバナーはこのことに関連付けて、『ロータリーに新風を！』というスローガンを掲げました。そして二大重点目標として「会員増強」と「新世代奉仕」を設定しました。

まさに今、我がクラブに求められているテーマであります。新しい奉仕活動につきましては「新世代」に限定せず、20周年に向けて、わがクラブの身の丈に合った活動を、模索していきたいと思えます。いずれにしても、会員の皆さんの協力が必要です。新しい提案を必要としています。そしてみんなで決めて、みんなで実行することです。

クラブ内部のことについても、基本に戻って、しっかり見つめ直す時期に来ていると思えます。CLPのどの部分がクラブの充実につながるかを、改めて検討し、判断を下す必要があります。新しい慣行や手続きがあつたり、クラブの独自性を反映するためには、それがクラブの定款や細則を更新あるいは改正することにつながります。また同様に、クラブの委員会構成やその役割と責務の変更も、考えることが必要でしょう。

長期計画として、20周年に向けて3年計画を立てる必要があります。それは目標の設定とその目標を達成するための行動計画を立てることです。内容としては、主として「会員増強」、「奉仕プロジェクト」、「クラブの管理運営」に関することになると思えます。

“例会は楽しくなければ！”という思いがあります。そのためにも1人1人が出席率を上げてもらいたいと思えます。そして改めて顔つき合わせて、四方山話をしましょう。重点目標の第1を、「毎月の第1例会を100%出席例会にしよう」としたのは、そういう思いからです。第2はやはり「会員増強25名、20周年には30名越え」ということとなります。皆さんの人脈の広さと深さに期待し、仲間の拡大を、心より願います。次第です。

これから1年間、長谷川幹事と共に、前へ前へと進んでまいります。どうか皆様のご支援、ご協力を、よろしくお願い致します。